

光る調べ

「チェンバロと琵琶と語りで紡ぐ源氏物語」



『源氏物語』より「六条御息所」をもとにして
チェンバロと琵琶という和洋古楽器の響きと
語りでつむぐ、麗しくも儂いものがたり。

2025年4月26日(土)・27日(日)
開演 14:00 (開場 13:30)

- 会場：総本山 三井寺 観月舞台 ※雨天時 / 三井寺事務所2階ホールにて
- 入場料：3,000円 / 自由席 ※別途入山料金必要 大人 600円・中高生 300円・小学生 200円
- 出演者：小川加恵 / チェンバロ
中沢龍心 / 琵琶弾き語り (【尸童～よしまし～】 / 『三井寺妖怪ナイト』)
満茶乃 / 語り (【尸童～よしまし～】 / 『三井寺妖怪ナイト』)

主催：光る調べ実行委員会 協力：総本山 三井寺

ご予約はこちらから▶



※フォームから予約できない場合は当日、現地での現金でのお払いをお願いします。



小川加恵

Kae Ogawa

チェンバロ・フォルテピアノ奏者

東京藝術大学、オランダ、デン・ハーグ王立音楽院修了。第16回ファン・ワセナル国際古楽コンクール(オランダ)第1位受賞。ヨーロッパの主要な古楽音楽祭に出演。国内外でソリスト、アンサンブル奏者として活躍。日本国内においてもオリジナル楽器による室内楽の普及に積極的に努め、全国各地で公演を行っている。第8回浜松国際ピアノコンクールの関連事業として、レクチャーおよび室内楽公演を行ったほか、第31回国際古楽コンクール(山梨)では審査員を務めた。

テレビ朝日『題名のない音楽会』やNHK Eテレ『クラシック音楽館』、NHN-BSプレミアム『クラシック倶楽部』に出演するなどメディアへの出演も多数。

またメディアアーティストの落合陽一氏とともに古楽器とデジタルアートによるコラボレーションコンサートを行うなど、新たな音楽体験事業の創出にも力を注いでいる。



<https://www.kaeogawa.com/>



中沢龍心

Ryushin Nakazawa

琵琶弾き語り

30代までヘヴィメタルバンドのvocalとして活動。

その後ミクスチャーバンドでDJ/マニピュレーターを担当。バンド脱退以降ゲーム/映画サウンドトラック等の制作。2013年から琵琶奏者に転身、錦心流琵琶一水会、杭東詠水氏に師事。独演会の他、かたりべ満茶乃と古典怪談コンビ【尸童〜よまし〜】として活動。

2023年から薩摩琵琶正派『弦城会』の後藤幸浩氏(アニメ『平家物語』、映画『犬王』の琵琶演奏担当)に師事。

『三井寺妖怪ナイト』、俳優 佐野史郎氏『小泉八雲の調べ』伴奏、山田玲司氏 個展『秘仏+α』、落合陽一氏『デジタル、古楽器、千利休』、ギタリスト山本恭司氏との共演、他。

密教法具、エフェクター、サンプラーを使用しながらの琵琶弾き語りなど、古典形式にとらわれない実験的な演奏、舞台を実施する。

また『中沢晶洞』発見者の父を継いで親子二代で鉱物採集家として活動、宝石ハンターとして地上波TV出演。



<https://lit.link/BiwaRyusin>



満茶乃

Masano

かたりべ

日本唯一の古典怪談専門怪談師

Japanese traditional storyteller

依頼を頂いた土地の伝承や古典籍を探究し脚本化。物語に魂を添えるよう語り伝える。

2000年～京都造形芸術大学(現京都芸術大学)能楽部【楽心会】にて、故 観世榮夫・故 河村信重 両師に師事。2005年～現在、観世流シテ方能楽師 田茂井廣道【碧道会】に師事。2016年～現在 琵琶奏者 中沢龍心と古典怪談コンビ【尸童〜よまし〜】としても各地で公演。

『稲川淳二の怪談グランプリ』2015年準優勝/2018年チャンピオンバトル出場『築地本願寺 銀座サロン』『三井寺 妖怪ナイト』『大念佛寺 幽霊博物館』『高台寺圓徳院 百鬼夜行展』『妙顕寺 Night craft museum』『東映太秦映画村 怪々YOKAI祭』

『小西酒造【白雪】たしなみ講座』『尼崎城 歴史ナイトウォーク』『御幸宮 伏見酒妖怪フェスティバル』

『MBS 京都知新』『NHK ぐるっと関西お昼まえ』『怪談好きが集まるBAR REQUIEM』『鳥田秀平のお怪談巡り』など。



<https://lit.link/kataribemasano>



『源氏物語』より 六条御息所 (ろくじょうのみやすんどころ)

才色兼備の誇り高き未亡人、六条御息所。東宮の妃となり娘を授かるも若くして夫に先立たれます。生まれながらの気品と美しさをかねそなえた若き未亡人を光源氏が見初めます。年下の貴公子、光源氏の求愛をうけとめるも彼には妻も愛人もおりました。気位の高い六条御息所をうとましく思い始めた光源氏の心はしだいによその女に移ります。光源氏への深すぎる思いのあまり他の女性たちを呪う六条御息所、その激しい嫉妬は己の身を狂わせ物の怪へと変えてしまいます。恐ろしくも美しい妖魔。生霊となって愛人らを苦しめる、そのような己の醜さにも苦しみながら、つれない光源氏にも絶望し 都を去っていくのでした。

公演会場 観月舞台

滋賀大津の長等山、三井寺はその中腹に広大な敷地を占め、平安以来千二百年、天台の法燈を継いでいます。

三井寺は古来より観月の名所として名高く、多くの文人墨客が訪れて来ました。建ちならぶ堂塔のなかでも、ひときわ目を引く建物が今回の公演会場となる「観月舞台」です。眼下には琵琶湖疏水と大津の町並みが広がり、新緑の山々を遥かに湖を一望のもとに見渡せます。

